

令和4年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第5回 議事録

●日時

令和4年12月17日(土) 19:00～20:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●出席者(敬称略)

【常任理事】会長(石田)、会長代行(多和田)、副会長(澤野、長谷川、大澤、前刀)、会計(下山)、伝統文化委員長(市橋)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田成伸、陸浦)、企画広報委員長代行(斉木治郎)、企画広報副委員長(柴田、林)、からくり文化振興部長(加藤)、専務理事(溝口)

【理事】枝町組理事(武藤)、魚屋町組理事(小川)、下本町組理事(松岡)、熊野町組理事(浅野)、新町組理事(坪内)、本町組理事(安田)、鍛冶屋町理事(市橋)、名栗町組理事(森)、寺内町理事(三輪)、余坂組理事(藤澤)、外町組理事(伊藤)、内田町組理事(若山)

【企画広報委員】斉木美加、前田、梅田

【犬山市】歴史まちづくり課(市野主査)、観光課(小池課長、小林主事補)

【その他】愛知大学(佐藤准教)、保存会事務員(竹村)

●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

①. 来年度本祭に向けて

②. その他

●配布資料

- ① 祭礼関係予定表
- ② 次年度犬山祭協賛金趣意書
- ③ 犬山市広報
- ④ 針綱神社年間予定表
- ⑤ 新春講演会案内
- ⑥ 第二回てこ委員会について
- ⑦ 7町内からくり借用料について

●議事内容

I.

① 会長挨拶

・会長：犬山祭をご支援いただきましてありがとうございます。最近またコロナがぶり返してきている。一人一人気を付けていただきたいと思います。

今回の議題は来年度のお祭に向けてということで、犬山祭をやるにはものすごく大きな他の所の力、支援を目に見えないところで受けている。特に行政関係は税金を使うので早めに準備しなければならない。なるべく早めに方針を決めなければならない。

来年の4月の祭は、原点に返って従来通りにやるつもりではあるが、また状況によって変更もするが、今から来年4月に向けてもし縮小するならどれくらいになるかといった議論するのは難しいと思うが、そのご意見をお聞きしたい。

この犬山祭保存会は民間の我々でやるのが本来の姿である。行政とは異なりボランティアである。また行政は、犬山市全体の利益のために動いているので、保存会だけを特別扱いするわけにはいかない。そういった事も含めて議論していただきたい。

犬山祭から針綱神社を抜いたら、犬山祭にはならないと思う。針綱神社の情報も入れておいていただきたいので、針綱神社の年間行事をレジュメに記載した。保存会の皆さんに知っておいていただきたい。強制するものではないが、犬山祭を愛し支

える我々としては針綱神社に行く、一体になる、という気持ちも忘れないでいただきたい。

また、我々は他の祭団体のことも勉強しなければならないということで、商工会議所がやっている新春講演会を、保存会と一緒に共催するという形で来年1月に開催する。是非多くの方にご参加いただきたい。犬山のまちをどのように作っていくかという講演会であり、保存会も全面参加していきたいので、頭に入れておいていただきたい。

報告事項

- ・歴史まちづくり課：犬山氏史（平成）編纂へのご協力願いとということで、今犬山市では平成の犬山市の歴史編纂を行っており、その中で犬山祭のことも取り上げさせていただきたいということで、専門家の方に調査していただいている。勝手ながらこのような日程で車山蔵の中を、編纂委員さんに見せていただいて、お話を聞かせていただければということでスケジュールを決めさせていただいた。ご都合をつけていただければありがたい。基本的には歩きで伺う予定。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回の平成編の内容としては、犬山祭が昭和の時代からどのように変わっていったか、国の文化財やユネスコの登録ということを大きな流れとして書く。まずは一度車山蔵の車山を見させていただいて、町の方の犬山祭への思いや概略というものをお聞きしたい。深堀したいことがあった場合、次回のお約束をさせていただくかもしれない、という位置づけとなる。宜しくお願い致します。

- ・会長：佐藤先生は元々は立命館大学の大学院の研究者で、犬山祭のことは大変詳しい。京都なので、祇園祭の研究者でもあり、我々にとってありがたい方。今年度から愛知県の愛知大学をベースにして祭研究をしていらっしゃる。犬山市の祭を色々な角度から学術的に研究して犬山祭の価値を高めていただくための大切な存在である。
- ・佐藤先生：一度皆さんには聞き取りの場を設けていただき一通りお話を聞かせていただいた。現在は、愛知県に軸を置いて犬山祭を地理学的な観点から、祭を支える地域の力というテーマで研究している。4月のお祭に向けて、理事会に参加させて

いただいて、どのように祭を開催までもっていかれるかということを見学させていただきたい。よろしくお願いいたします。

II. 議題

① 来年度本祭に向けて

- ・会長代行：4月の本祭に向けてまた理事会を始めていくので、ご意見をいただきたい。
- ・専務理事：令和5年の祭スケジュールについて。理事会は土曜の夜に開催。平日の会議に関しては、役所、消防、警察に土日祭日は来ていただけないため、そのような形で組んでいる。たたき台なので、皆さんのご意見をお聞きして、変更点等があればまた言っていただきたい。市史編纂について、1月15日、21日に協力ということで追加で記載する。
- ・下本町：修復披露を3月19日、場所はどんでん館で行う。
- ・伝統文化委員長：若衆会議について。来年2月に開催予定。
- ・専務理事：各委員会も合間に開催して頂く予定。次回の理事会までにまた確定したスケジュールを埋めた物を周知する予定。
- ・3月1日のお札渡し式を、2日の関係諸機関会議の前の10時に持ってくるのはどうか。
- ・専務理事：そのように変更する。
- ・専務理事：協賛金趣意書について。既に協賛金を納めていただいた方は、新たに納めて頂かなくても結構ですという内容を追記した。もう一度出していただけるとい方は遠慮なく受けていただいても良い。また協賛の申し込みをしたが未納であるという方は、納入して頂くようお願いしたい。どの方が納入されているか、納入されていないかのデータは、また一月初旬に送付させていただく予定。それ以外は二年前と同じ内容。また会長からのお祭への思いについて添えさえていただいている。
- ・会長：お金を出してくださいとお願いすることは、慣れてはいけない。お金をいただいてありがとうございますという気持ちを込めなければいけないということで、そういった気持ちの文章も書いた。皆様も、当たり前なことだという方はいらっし

ゃらないと思うが、お一人お一人に感謝しつつ謙虚に祭に臨まねばならないということである。

また、犬山祭のことを広報に載せて欲しいと市にお願いして、犬山市広報の LOOK 犬山祭のページに書いている。保存会にもとても良い文章を書いて下さっている方もいるし、反響もいただいている。こういったものを通じて、市民の方に、皆さんのために祭を頑張っていますという気持ちをお伝えして、少しずつでも犬山祭の歴史を作っていきたいと思う。

今回の原稿で書いた郡上踊りも、犬山祭と同じように、民謡という括りとしてユネスコ無形文化遺産になった。郡上踊りにも形はなく、人と人との繋がりである。こういったことも関心を持って頂ければと思う。

京都の祭関係者の研究会からの広報を送ってもらっているが、京都はやはりすごい。市民の祭に対する取り組み方が進んでおり、勉強になる。京都は歴史が激動しており、祇園祭ですらやれなくなったり等、それらを皆で乗り越えてきている。京都は日本で一番外国人の観光客が多い。犬山の学ぶところである。佐藤先生のような方が犬山とのパイプをつないでくださる。京都を勉強するのは大事である。京都の改革の肝になっているのが、タイト&オープンという言葉で、伝統はタイトに厳密に守りつつ組織運営はオープンに外部に開いていく、ということ京都から学ぶべきでは、ということを書いて書いた。

- ・副会長：針綱神社の年間行事について。今年の七五三は多くの方にご参拝をさせていただいた。今、犬山市内でなく一番多いのは各務原、可児市が多い。除夜祭が12月31日に行われる予定。来年に向けての打ち合わせを二回ほどやっている。50名ほどの申し込みがある。また、一番大きな行事として、ご神木が三年後には来るので、着々と準備をしている。皆さんにお世話になると思う。氏子の50町内で、総会があるたびに3年かけて回ってお願いをする予定。よろしく願いいたします。前回の際は車山を出したが、今回も出していただけたらと思う。
- ・会長代行：来年度の本祭に向けてということで、各理事さんにご意見をお伺いしたい。
- ・寺内町：従来通り行うということで良いと思う。
- ・外町：従来通りでやりたい。
- ・鍛冶屋町：従来通りで良いと思う。自町内は今年も犬山祭に参加できず、来年は4年ぶりとなる。子供は二人しか上っていない。新しい子が初上がりは5、6人とな

る。12月15日にお囃子の練習会をやり、1月2月に二日ずつやる。少しでも早く新しい子供に会所場で練習をさせてあげたい。若衆も集まっていただいて一生懸命やっただけにしている。間違いないよう、例年通りやっていきたい。

- ・余坂町：従来通りが良いと思う。自町内は最後から二番目にからくりを載せる。以前、一時間ほど遅れたことがあったが、帰ってすぐ提灯をつけてほしいということで、なんとか一時間分を延ばしてもらった。遅れがないように、少しでも努力していただけたらと思う。
- ・寺内町：従来通りで準備を進めていきたい。
- ・本町：従来通りが良いと思う。久しぶりなので、事故のないようにしていきたい。
- ・新町：町内では議論がまだ始まっていないが、従来通り進めていきたい。
- ・下本町：従来通りやっていきたい。土曜日の夜、神社に13輦の車山を並べられたら良いと思う。
- ・枝町：従来通りが良いと思う。
- ・魚屋町：祭自体は従来で良いと思う。一般社団になったということで、会員制のことをもう一度整理していただきたいのと、スケジュールの問題、新しい方々を募るのか、また物価も上がっているの、各町内で準備をするのもお金がかかる。一般社団でやる上で、犬山祭に協賛していただける方法が何かないかと考えている。先般奈良に行ったときも、我々のからくりを高評価をいただけたので、もっと見ていただいて、それを見るために犬山にお金を落とせるような祭になればと思う。市も経費の負担が大きいと思うし、祭が我々の自己満足ではなく外から評価をいただきながらお金が落ちて、祭が発展していけるような祭を考えてもいいのではと思う。
- ・内田町：従来通りで行きたいと思う。
- ・熊野町：通常通りが良いと思う。町内の中ではコロナがおさまっていないのにやるのか、という意見も出るかと思うが、てこと若衆と小太鼓はやる気満々なので、通常通りが良いと思う。

また、18日にてこ委員会を開催し、祭参加者の事故の対応の安全対策、コロナ対策重視の運行計画、密にならないようにという事である。また、今後の日程の、2月末の自警、3月のてこ固め式について話し合いたい。

- ・専務理事：事務局にも来年の祭の問い合わせが来ている。旅行代理店等から、海外からの犬山祭のツアーを組みたい、またそのために犬山祭の画像をお借りしたい、といったお話が来ている。

先日、高山の秋の八幡神社の祭礼に行ったら、予定通り行っていた。従来の3分の1位である6万人ほどの観光客が来ていたとのこと。外国人が来ないこと、コロナの影響もあったということだが、久しぶりにやって大変賑わって良かった、ということでも喜んでおられた。

犬山祭の改革について、同じユネスコの無形文化遺産登録である大分の日田の保存会から、どういう段取りで法人化をやられたのかというお問い合わせがあった。

- ・会計：今後の予定で、4月3日に補助金を渡すとなっているが、コロナの前の話であり、去年今年同様、終わってからの年度末の精算で今後とも進めていくのでよろしく願いたい。
- ・歴史まちづくり課：現在は各町内に振り込ませていただいている。3月の終わりの領収書を対象にしたいので、振込は5月頃になる。
- ・会計：以前の時の話で、45万と5万を4月の頭に使うか使わないかということであり、みなさまにお渡ししたものである。今は3月末で占めて4月15日頃に決算をいただき、5月GW明けにお支払いさせていただく。
- ・会長代行：皆さん、従来通りで良いとのご意見をいただき、このような方針で今後進めていくので、てこ委員会、企画広報委員会、伝統文化委員会をそれぞれ開いていただき、どのような運行にするのかを詰めていただきまたご報告いただきたい。

②その他

- ・会長代行：2023年新春講演会について。商工会議所、小牧法人会犬山支部、犬山市観光協会、犬山祭保存会の4団体で協賛をさせていただく。保存会も協賛の一団体なので皆様のご参加をお願いしたい。またパンフ等も用意しているので出欠の確認をさせていただく。
- ・会長：今回、犬山市長が新しく変わった。市長が犬山祭をどう考えるのかということは非常に大きいことである。例えば、ユネスコの無形文化遺産をまとめる全国山鉾屋台保存連合会の事務局は秩父市である。しかし、先般の選挙で秩父市の市長が変わって、そういった事務局をやるなという方針を出している。これは秩父市の問題であるし、原市長は町内在住でてもやっておられて犬山祭が大好きな人で、犬

山市の行政が大きく変わるわけではないが、現実問題として、政治と祭の原点は一緒である。そういったことも頭に入れながら、市長が犬山祭をどう考えるかということも、我々が巻き込んでいく。市長が文化財としての犬山祭を行政的に支援してくれるような雰囲気を作っていかなければならない。

今度の新春講演会では、商工会の会頭と相談して、原市長の犬山への思いということで我々も聞いていかなければならない。第二部の若山滋さんは、犬山の城下町を激賞してくださっている。この方は世界中の建物を見ているが、木で作っているのは日本だけであり、諏訪の御柱のように、木が神様である。そして我々の犬山祭の車山は、動く日本建築で、同じ哲学が込められている。城下町と犬山祭の話をしていただく予定。こういった方のお話を聞くと、我々も犬山の文化に自信を持てるようになる。車山組や車山おろしは大事な日本文化であるというのがこの方の持論である。また、車山のことをムービングシュライン、動く神社と言っている。是非祭の研究のためにも聞きに来ていただきたい。

また、神社の式年遷宮というものは大きな意味を持っているので、関心を持っていただきたい。伊勢神宮が20年に一度本殿を作り替えるのは、20年で人の年齢の構成が変わる。建物を新しくすると同時に世代が変わるということであり、我々犬山祭も無形文化遺産であるので、それを担う我々も、やはり新たに世代交代していく必要がある、ということが式年遷宮における教訓ではないかと思う。絶えず次の世代を育てていくということが一番大事で、祭で大事なものは子供である。全国どここの祭でも同じで、子供を巻き込んでいくことで永遠に続いていく。私共の役割は、中年の若い方に活躍の場を譲り、中年の方は青年たち、少年少女たちに祭の面白さを刷り込ませることで、そういった世代交代がサステナビリティ、持続可能性を祭の中のシステムとして持っていると思うので、子どものためにも祭を続けたいと思っているので、是非再確認していただけたらと思う。

- ・観光課：従来通りということで皆様のご意見を伺いましたが、運営に関することとして、1月下旬に犬山祭企画委員会が開催される。今年度のお祭も一日のみの実施というところもあったので、安全に無事に祭を実施することが大事かと思うので、車山の運行が決まっていく中で、警備や看板といったところも一緒に考えて準備していきたい。よろしくをお願いします。
- ・企画委広報副員長：餅関係のご報告。針綱神社への鏡餅の奉納について、12月28日10時から行う予定。よろしくをお願いします。また餅つきを年明けの1月15日に行う予定。針綱神社にはお願いしてあるが、屋根があるので天候関係なくやれ

るのと炊事等が使いやすいということで会場を余遊亭の方で検討している。決まり次第皆様にお伝えする予定。

- ・会長：本日、東之宮の冬至の祭りがある。針綱神社の筆頭祭神が尾治針名根連命（おわりはりなねむらじのみこと）で、3世紀の頃に尾張平野を平定していた部族長であり、東之宮に埋葬されている当時の長である。本日は保存会の企画で数人で行ってきたので、報告していただきたい。
- ・企画広報委員：今年は本来は12月22日が冬至であるが、今回はニワ里ネットの赤塚先生の講演もあり、土あげ祭と並行して朝6時半に上り、太陽を見るというイベントがあり、参加した。本日は曇っていたためご来光は見られなかったが、太陽が昇ったことは確認でき、光が一瞬見えた。山田前市長もいらっしゃった。東之宮古墳は現状一部崩れている状態がそのままになっており、それを5年かけて、土を袋に入れて担いで人力で修復をするというイベントがあり、それが二年目になる。まだ修復はできていない状態であり、今後何かの形で多くの方で修復をしていけたら良いと思う。

この土あげ祭を次回は3月21日春分の日に行う。針綱神社筆頭ご祭神ということでもあり、東之宮の修復が早くできたらということで、次回も参加しようと思っている。

- ・事務員：からくり館の館内で7町内さんからお借りしている賃借料について、各ご町内に一万円をお渡しする予定なので、また12月24日に事務局まで印鑑持参のうえお越しいただきたい。よろしく願いいたします。
- ・てこ委員長：予定表について。電線点検の二回目について、日程が祭と近過ぎるので、10日ほど早めていただけないか。
- ・専務理事：毎年この時期にやっている。一回目の電線点検で、不良だった箇所を2、3人で回るだけであるので、直近でも問題ない。
- ・てこ副委員長：この週は祭礼合同会議も含めて、平日の間に3日都合をつけないといけないので、サラリーマンにとって厳しい日程であり、来年の祭は1日、2日であることも考えると効率よくまとめられると皆さんの都合が付きやすいのではないか。

- ・副委員長：祭礼合同会議が終わってから電線点検を行うと前準備の都合もつきやすいのでは。
- ・専務理事：祭礼合同会議は警察・消防も含め人数が多いためフロイデで行う。関係諸機関会議だけでなく合同会議に関しても消防、警察、観光に来ていただければならない。これまでも来ていただいていた。

関係諸機関会議は内部的な調整の話で、祭礼合同会議はそれまでの色々な取り決めを、祭礼をやる町内の方に対しても説明し周知して、またこうした方が良いという注意喚起をするものである。提灯が燃えないように、転倒事故の防止、といった内容である。対象は理事、町会長、当番、祭に関わる方を5名程ずつ招集する。令和二年度の予定では木曜に祭礼合同会議を招集している。

日程が切羽詰まっているという事で、日程を前の週に持ってくるという事は可能である。

- ・会長代行：日程を前倒しするという事で変更をして資料を作ってください。
- ・専務理事：それに合わせて電線点検二回目の日程も変更する。
- ・会長代行：3月の予定について。28日の祭礼合同会議を24日に変更。

電線点検Ⅱも同じく24日合同会議の後に変更ということでよろしく願います。

- ・副会長：以前は、事前に警察に、1年半ばかりに行っていたが今回は行かなくても良いのか。
- ・会長代行：そのように対応させていただく。

●次回日時

令和4年1月21日 19:00～

●次回場所

からくり館2階

●記録日

令和4年12月23日

●記録者

竹村

●署名

石田芳弘

溝口正成